

シンポジウム

ハンセン病問題の

これまでとこれから

～ 私たち一人ひとりに できること ～

ハンセン病問題を知っていますか。

国の誤った強制隔離政策により引き起こされた重大な人権侵害である。現在においても差別・偏見は根強く残っている。

国立療養所東北新生園（宮城県登米市）を知っていますか。

1939年、国の強制隔離政策により、現登米市に、11万坪、400床の施設として開所された。2010年3月現在、入園者数135名、平均年齢80歳を越えている。

ビデオ上映

「ここで生きたい」(17分)

企画/製作 ハンセン病違憲国賠訴訟全国弁護士連絡会

講演・パネルディスカッション

パネリスト 久保 瑛二さん（東北新生園自治会長）
大木 三郎さん（仮名）（新生園退所者）
内藤 雅義さん（東日本弁護士団）

コーディネーター

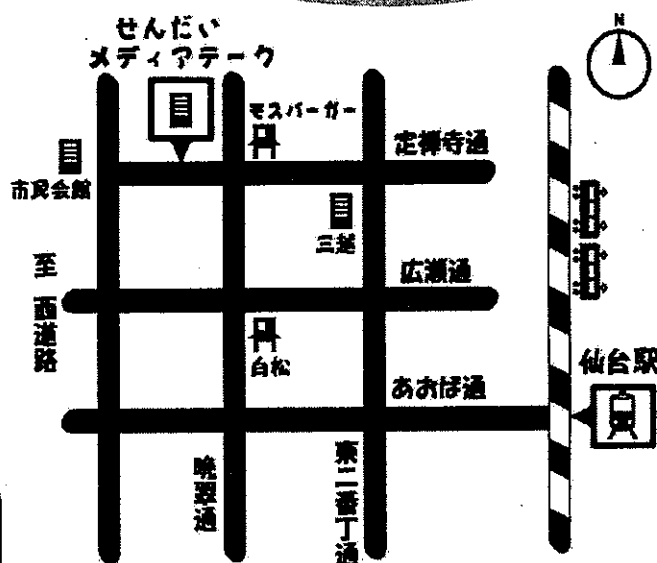
訓覇 浩さん（真宗大谷派解放運動推進本部員）

開会 午後 1 時 30 分

(午後 4 時 30 分終了)

お問い合わせ Tel 022-297-2824 (張崎)
仙台市宮城野区小田原1-2-16 真宗大谷派東北別院

【入場無料・申込不要】



仙台市青葉区春日町 2-1

主催 ハンセン病問題を考える市民の集い（順不同）

カトリック正義と平和仙台協議会 カトリック仙台教区人権を考える委員会 教育労働ネットワーク
自分の居場所から不登校を考える会 浄土真宗本願寺派東北教区宮城組 真宗大谷派仙台教区教化委員会
日本キリスト教団東北教区 日本ソーシャルワーカー協会 ハンセン国賠東日本訴訟弁護士団
宮城県医療社会事業協会 宮城県ソーシャルワーカー協会